

市制10周年

市の未来をどう見据えるか？



梅村 勝久 議員

答 市民と課題を共有し、まちづくりを進める



▲市制10周年「未来へつなく人と自然のまちづくり」をめざして

問 「高島は二つの思いと共に合併し築いた10年は、同時に市のあり方を模索した10年でもある。

平成19年に市総合計画が策定された。10年間の計画だが、理念等として「環の郷たかしま」や「びわ湖源流の郷たかしま」も出された。これらの計画と取り組みは、市民にどのよう

に受け止められたか、また、高島の未来がどのように見えてきたか問う。

答 政策監

市総合計画等は、各分野の施策を幅広く捉えた計画の枠組みであることから、

市民の皆様には十分受け止めていただけなかったように感じています。

未来を見据え、次世代に繋げられるよう市民と課題を共有し、地域資源や地域の特性を活かした戦略的なまちづくりを進めることが必要と考えています。

答 総務部長

総合的に行政と市民との一体感に欠けていたように感じます。

今後は市民のご理解とご協力のもと、行政と市民が一体的に取り組むことが大切と考えます。

問 10年を振り返り「新たな価値を創造」するのであれば、そのビジョンを市総合計画に反映し市民と共有すべき。

特に昨今の国の流れは、特区等を取り込み、地方自治体同士の能力競争の時期だと感じる。ビジョンの策定は、

答 政策監

現在の市総合計画は平成28年度に終了します。計画の改定については、人口減少や財政状況等、厳しい状況ですが、市民との議論を深め、未来を見据えたビジョンを描きます。そのため、早い時期から準備を進めます。

答 政策部次長

計画策定段階から市民に参画いただくことが必要です。策定プロセスを重視し、実効性があり解りやすい計画であることが大切です。

答 総務部長

市民に計画の趣旨を説明することが大切です。こうした考え方を各局に周知します。

問 特区に対する認識は。

答 政策部次長

特区は大別して、国家戦略特区・総合特区・構造改革特区があります。市では構造改革特区として「高

島環の郷教育特区」によりECC学園高校が開校した実績があります。今後は、国や民間の実態を研究し、活かしたいと考えます。

用語解説

●特区：

経済発展のために法的・行政的に特別な地位を与えられている地域。

その他の質問

- 市制10周年記念式典並びに連携事業
- 松ノ木内湖の再生



▲松ノ木内湖